

店舗一覧

明石市中央部	本店営業部	明石市本町2-3-20	078(912)4567
	明石駅前支店	明石市桜町11-14	078(911)8181
	人丸支店	明石市大蔵天神町4-7	078(912)0337
	林崎支店	明石市林崎町1-4-20	078(922)7431
明石市西部	西明石支店	明石市西明石南町2-14-7	078(923)1101
	市場支店	明石市藤江2029-1	078(921)3020
	大久保支店	明石市大久保町駅前2-1-7	078(936)2165
	江井ヶ島支店	明石市大久保町江井島835-1	078(946)0623
	魚住支店	明石市魚住町錦が丘1-12-1	078(947)6799
	二見支店	明石市二見町東二見887-1	078(942)1221
加古川市・高砂市・播磨町	加古川支店	加古川市加古川町寺家町311-3	079(422)6066
	宝殿支店	高砂市神爪1-10-2	079(432)8711
	本荘支店	加古郡播磨町南野添1-2-1	079(435)3270
三木市・小野市・加東市	三木支店	三木市大村63-9	0794(82)5211
	緑が丘支店	三木市緑が丘町東2-9-1	0794(84)1231
	小野支店	小野市上本町237-2	0794(63)1135
	天神支店	加東市天神492	0795(47)1011
神戸市東部	山崎支店	神戸市東灘区田中町3-3-3	078(431)1061
	魚崎支店	神戸市東灘区魚崎南町7-7-7	078(411)3281
	甲斐支店	神戸市灘区桜口町3-1-1-107	078(841)0141
	西灘支店	神戸市灘区岸地通4-4-15	078(802)1431
神戸市中央部	神戸支店	神戸市中央区小野柄通5-1-16	078(231)2731
	神栄支店	神戸市中央区下山手通3-1-13	078(391)0222
	宇治川支店	神戸市中央区北長狭通7-3-5	078(341)4502
	兵庫支店	神戸市兵庫区浜崎通3-22	078(671)3443
	平野支店	神戸市兵庫区上祇園町4-4	078(361)0411
	板宿支店	神戸市須磨区前池町3-4-1	078(735)6001
神戸市北部	鈴蘭台支店	神戸市北区鈴蘭台北町1-9-1	078(591)1221
	ひよどり台支店	神戸市北区ひよどり台2-1-2	078(743)1621
	藤原台支店	神戸市北区有野中町1-9-14	078(982)2489
神戸市西部	垂水支店	神戸市垂水区神田町3-10	078(706)2222
	舞子支店	神戸市垂水区西舞子2-14-21	078(784)8171
	伊川谷支店	神戸市西区池上2-21-8	078(975)0571
	玉津支店	神戸市西区王塚台7-96-1	078(928)6110
西宮市	西宮今津支店	西宮市今津出在家町1-6	0798(31)2489

〈にっしん〉

最新の決算 ミニガイド

◆2025年5月◆



彫画:伊藤 太一

We will make a fresh step everyday.



日新信用金庫



フリーダイヤル イコー ニッシンバンク
0120-15-2489
(受付時間)平日午前9時から午後5時まで

環境に配慮した植物油インキを使用しています。

日新信用金庫
The Nisshin shinkin bank

おかげさまで〈にっしん〉は2025年4月1日で設立50周年を迎えました。

これもひとえに地域の皆さまの長年に亘る温かいご支援の賜物であり、
役職員一同、心より深く感謝申し上げます。

50周年記念事業

●『50周年記念講演会の開催』



神戸学院大学教授の中野雅至氏を講師にお招きし「今後の
景気見通しと人手不足」をテーマに経済講演を開催しました。
(ザ マーカススクエア神戸:2024年11月)

●『交通安全ラッピング寄付型自動販売機の設置』



当庫と兵庫県警察、麒麟ビバレッジ(株)との3者協働により
【交通安全ラッピング寄付型自動販売機】を本店1台と3支店
の合計4カ所に設置しました。この自販機の売上金の一部は、
公益財団法人ひょうご被害者支援センターに寄付されます。
(魚住支店:2024年12月)

●『チャリティーゴルフ大会の開催』



(有馬カンツリー倶楽部)
2024年10月



(日本赤十字社兵庫県支部)
2024年11月

有馬カンツリー倶楽部において【チャリティーゴルフ大会】を
開催しました。日本赤十字社兵庫県支部にチャリティー募金
50万円を寄付しました。

●『記念商品の発売』



日頃のご愛顧に感謝を込めて50周年記念定期預金を取扱い
ました。

【取扱い期間】2024年11月1日(金)~2025年1月20日(月)
2025年2月12日(水)~2025年3月31日(月)

●『明石警察署とコラボして現金封筒を作成』



明石警察署とコラボして新たなデザインの現金封筒を作成
しました。「交通事故防止」と「特殊詐欺被害防止」のメッセ
ージと共にマスコットキャラクターも描かれています。
(本店:2025年1月)

●『まちかどカメラマンコンテストの開催』

【〈にっしん〉まちかど
カメラマンコンテスト】
と題しフォトコンテストを
開催しました。
たくさんのご応募ありが
とうございました。

【応募期間】
2024年12月16日(月)~
2025年2月20日(木)



イベントの開催

●『第2回 親子で学ぼう! お金のセミナー』



昨年度に引き続き、地域の子どもたちと一緒に楽しみながら、お金の
ことを学んでもらいました。(あかし市民広場:2025年2月)

●『あかしSDGs共創フェア』



明石市が取り組む「あかしSDGsウィーク」のワークショップ
に出展しました。(イオン明石:2024年10月)

明石市及び神戸市への寄附金の贈呈(子どもおうえん定期預金)



(明石市役所:2025年1月)



(神戸市役所:2025年2月)

明石市及び神戸市の子育て支援事業を応援するため、2024年度も募集総額の
0.01%相当額を寄附する『子どもおうえん定期預金』を販売しました。お客
さまの温かいご支援、ご協力により、多くのご契約をいただき、2025年1月に
明石市へ50万円、同年2月に神戸市へ70万円を寄附しました。

にっしん名店/銘品セレクション2024



2020年に創刊し、ご好評をいただいております
『にっしん名店・銘品セレクション』の2024年版を発売
しました。今回も36の事業者さまのご協力を得て、
にっしんが厳選した名店・銘品をご紹介します。

周年感謝デーの開催

地域の皆さまに支えられ魚崎支店が開設100周年、本山支店が開店90周年を迎えました。
感謝デー当日はたくさんのお客さまにご来店いただきました。



(魚崎支店:2024年12月)



(本山支店:2025年2月)

地域行事への参加

地域行事に積極的に参加し、地域の皆さまとのふれあいを大切にしています。



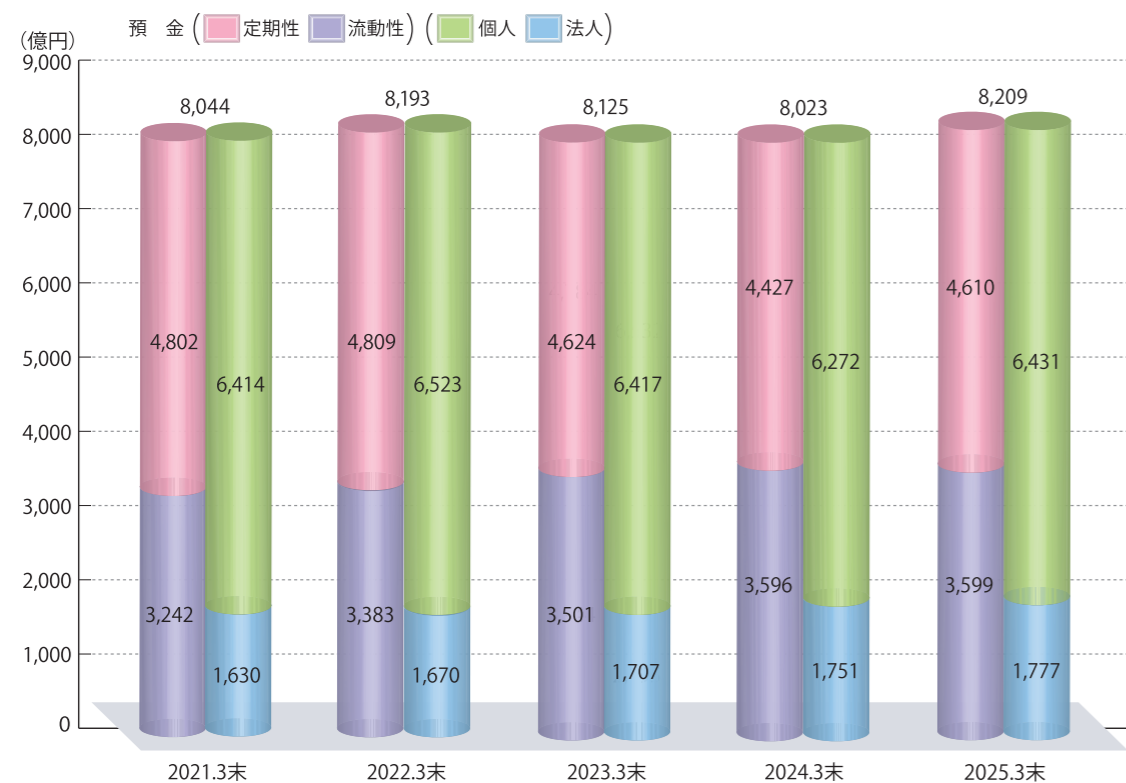
(大久保パレット祭り 大久保支店:2024年11月)



(トア山手もちつき大会 神栄支店:2024年12月)

~~~~~  
長きにわたり当庫のカレンダー制作等にご尽力いただいた彫画家の伊藤太一さんが2025年1月にご逝去されました。  
ご生前のご厚情に深く感謝するとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。  
~~~~~

預金



● 預金

預金は、2024年3月末に比べて186億円増加し8,209億円と過去最高になりました。流動性預金は3億円の増加、定期性預金は183億円増加しました。これは、50周年記念定期預金などのキャンペーン定期預金を取扱い、個人のお客さまの定期預金が220億円増加したことによるものです。

今後もお客さまの様々なご要望やご意見にできる限りお応えし、皆さまに喜ばれるサービスを目指してまいります。

● 貸出金

貸出金は、2024年3月末に比べて21億円増加し4,051億円と過去最高になりました。保証協会保証付き貸出金はコロナ関連融資の返済が進み、60億円減少したものの、伴走支援や資金繰り支援に取組んだことに加えて、地方公共団体への貸出金が81億円増加したことによるものです。

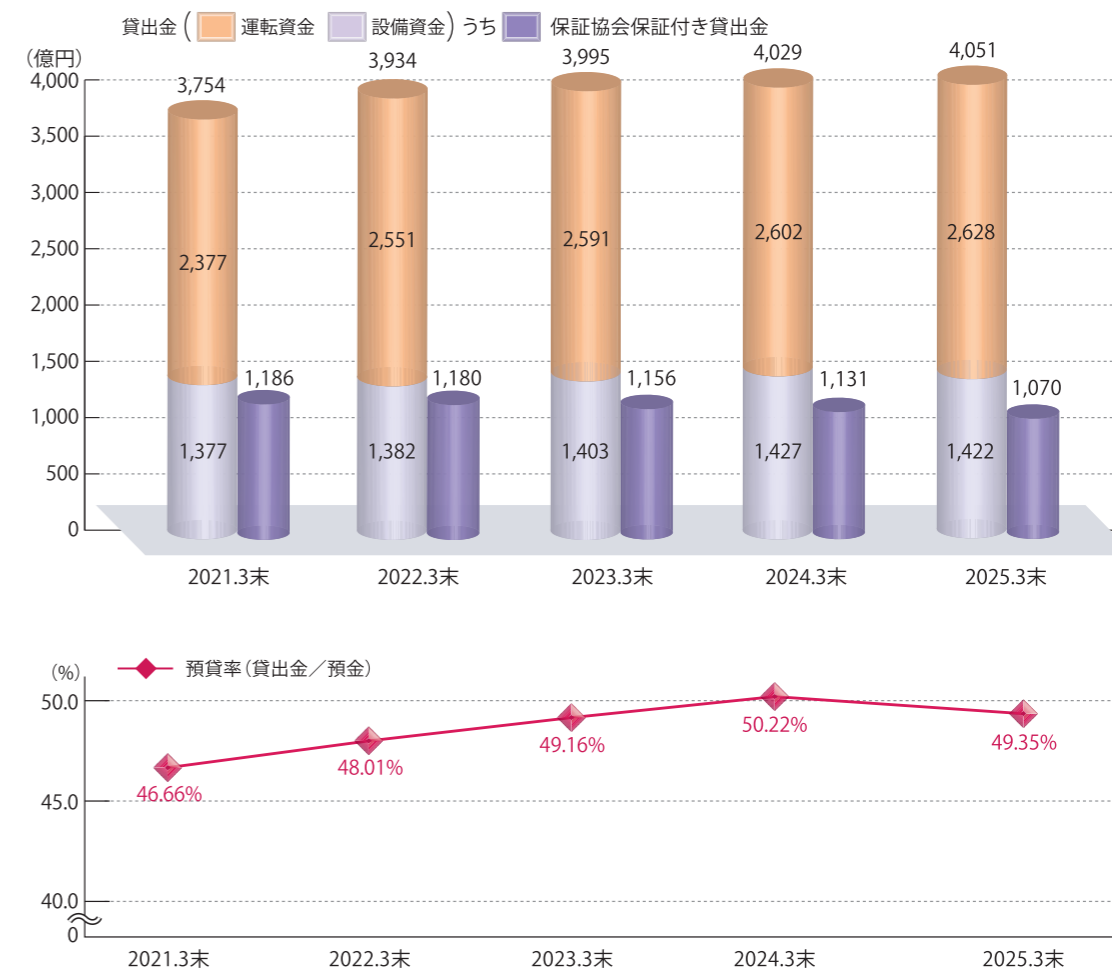
貸出金の増加以上に預金が大きく増加したため、預貸率は、0.87ポイント低下して49.35%となりました。

今後も地域の皆さまがかかえておられる課題の解決に全力で取組み、適切で円滑な資金提供に努めてまいります。

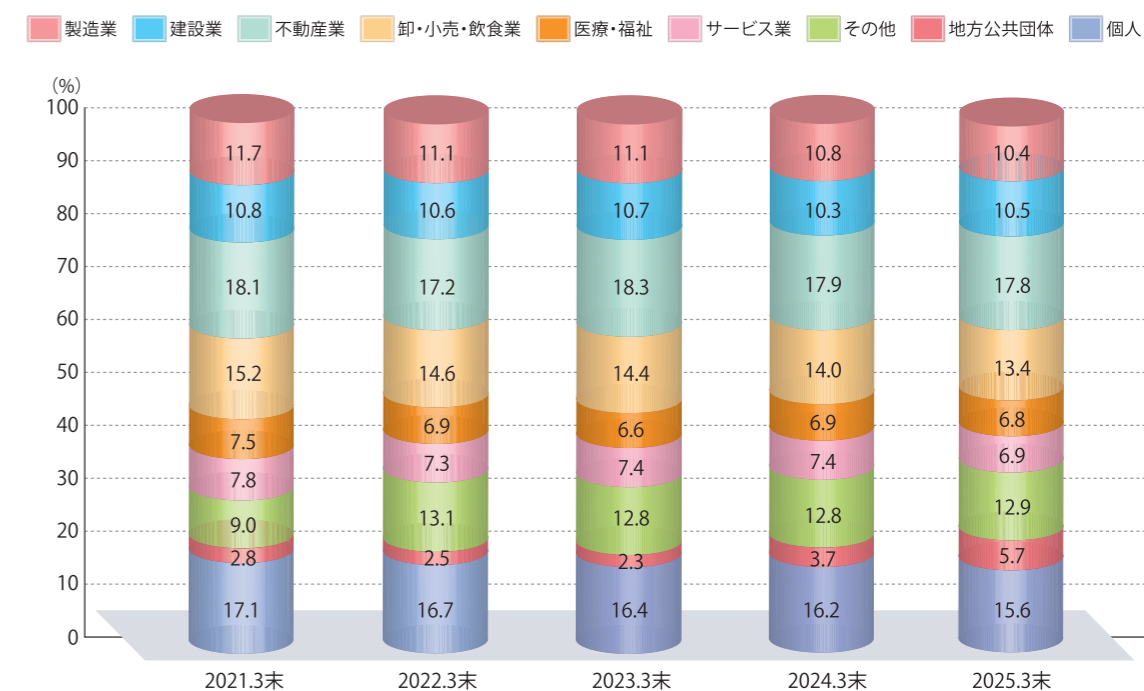
● 業種別構成比

貸出金の業種別構成比の推移をみると、2024年3月末に比べて地方公共団体、建設業、その他で増加しました。

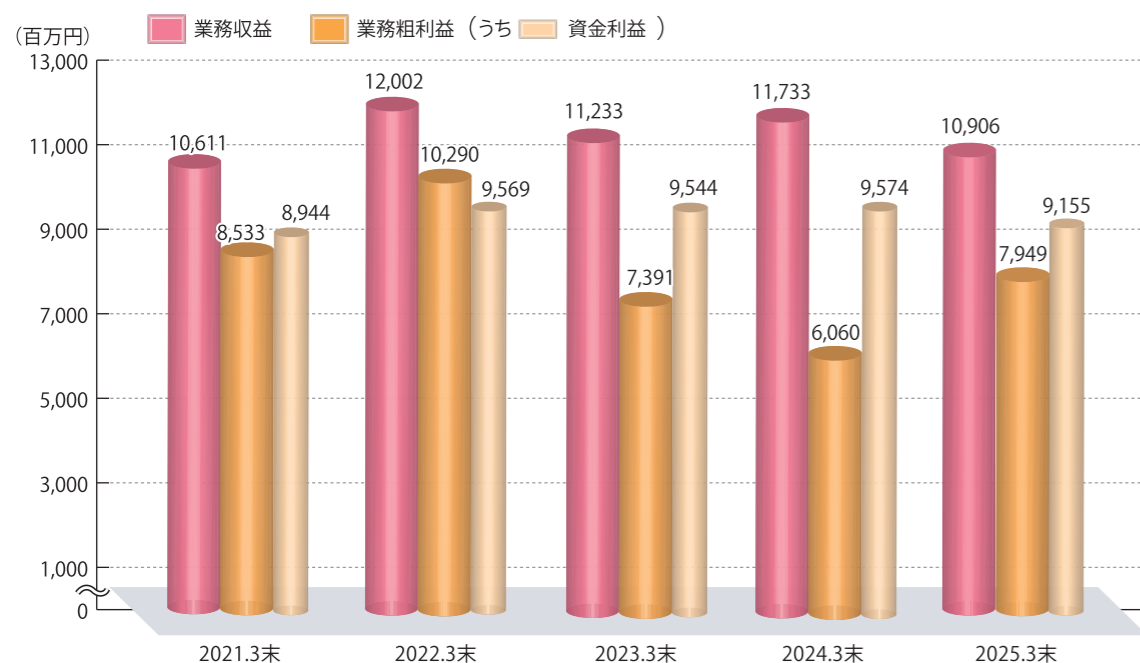
貸出金と預貸率



貸出金の業種別構成比の推移



業務収益、業務粗利益(うち資金利益)

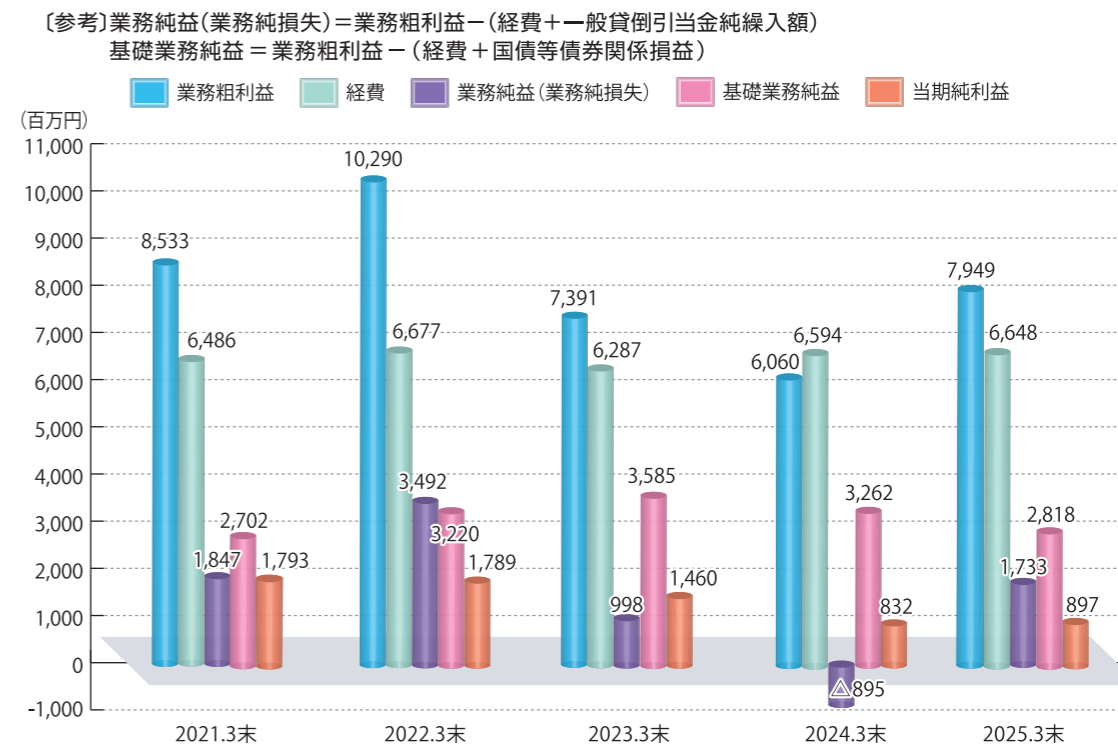


業務収益(貸出金利息収入、有価証券等運用収入、役務取引収入等)は、一般企業の売上に当たります。貸出金利息収入が145百万円増加し、預け金利息収入が347百万円増加したものの、有価証券利息配当金収入が354百万円減少したことに加えて、債券からの益出しを抑えたことから、その他業務収益が1,028百万円減少し、2024年3月末に比べて826百万円の減収となりました。

業務粗利益(業務収益-預金利息等の原価)は、業務収益が減収となり、2024年3月末に比べて預金利息が509百万円増加したものの、債券売却損・償還損が3,162百万円減少したことから、1,889百万円の増益となりました。

金庫の中核的業務から得られる資金利益(貸出金、有価証券、預け金の運用から発生する利益-預金利息)は、貸出金利息収入や預け金利息収入が増加したものの、市場金利の上昇に伴って預金利息が大きく増加し有価証券利息配当金収入も減少したことから、2024年3月末に比べて418百万円の減益となりました。

業務粗利益、経費、業務純益(業務純損失)、基礎業務純益、当期純利益



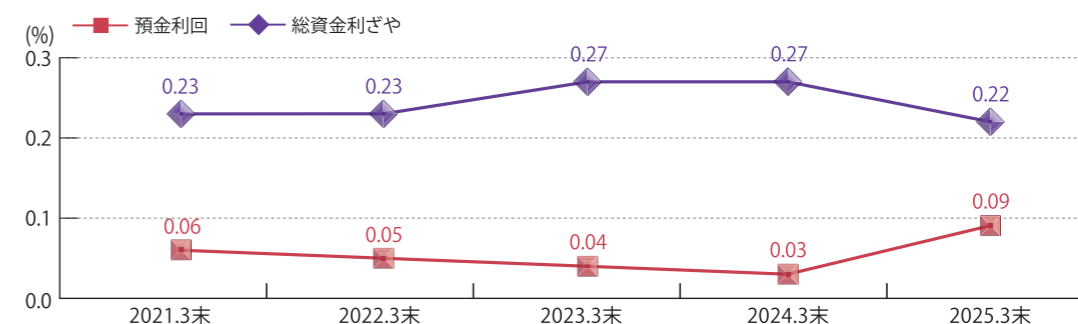
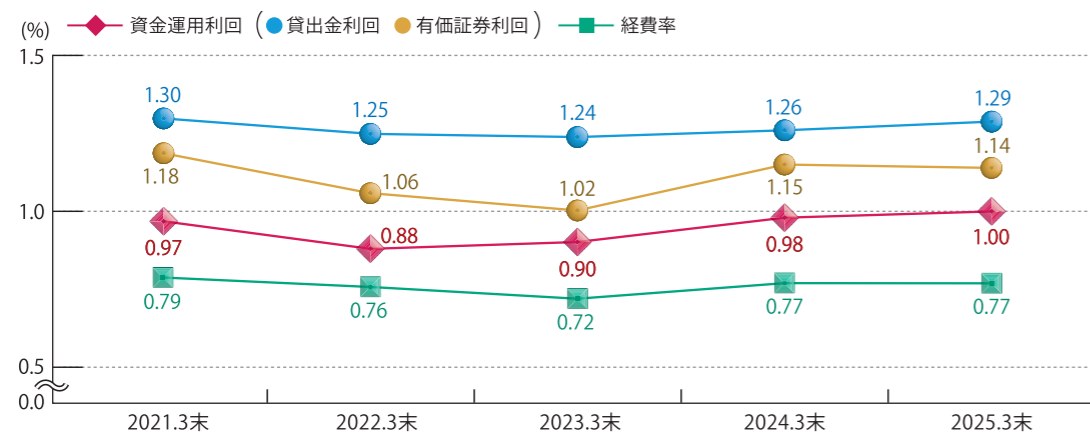
経費は、給与、諸手当の増額により人件費が増加し、2024年3月末に比べて54百万円の増加となりました。

業務純益は、経費が増加したものの、業務粗利益の増益により、2024年3月末に比べて2,628百万円増益の1,733百万円となりました。

また、債券売却損益などを除いた本業での収益力を示す基礎業務純益は2,818百万円となっています。

当期純利益は、個別貸倒引当金繰入額の増加や株式関係損益が1,739百万円減少したことにより、2024年3月末に比べて64百万円増益の897百万円となりました。

資金運用利回(貸出金利回+有価証券利回)、預金利回、経費率、利ざや



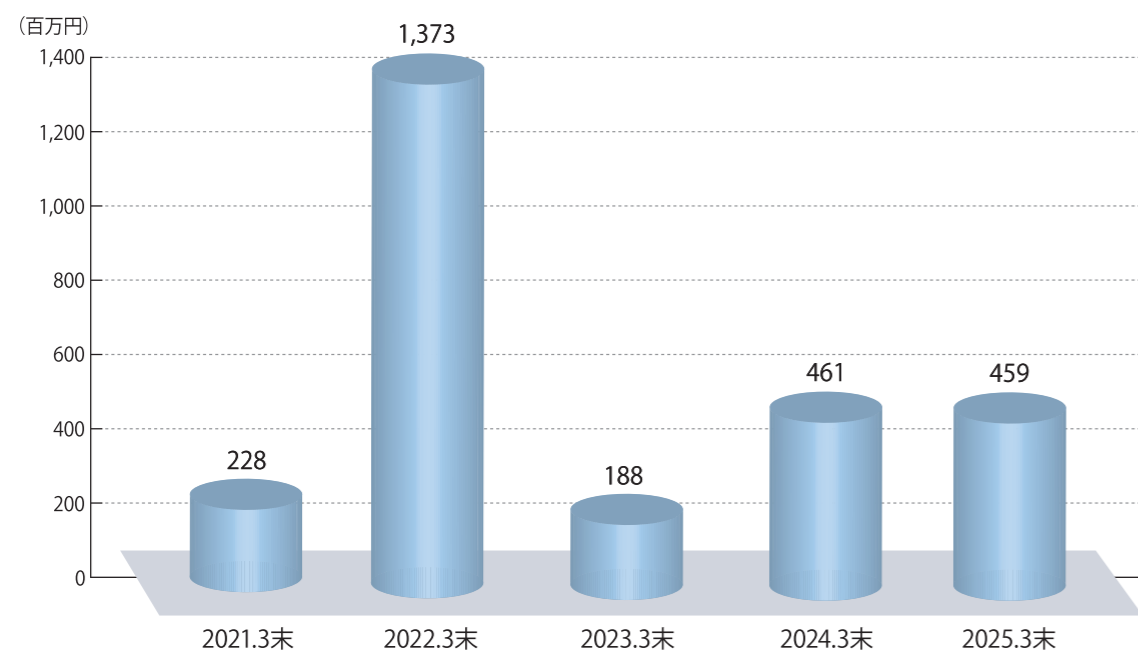
資金運用利回は、有価証券利回りが低下したものの、貸出金利回が上昇したことから、1.00%に良化しました。

総資金利ざやは、資金運用利回りが改善したものの、預金利回が大きく上昇したことから、0.22%となりました。

これからも収益力の強化に努めてまいります。

貸出金にかかる不良債権処理費用等*

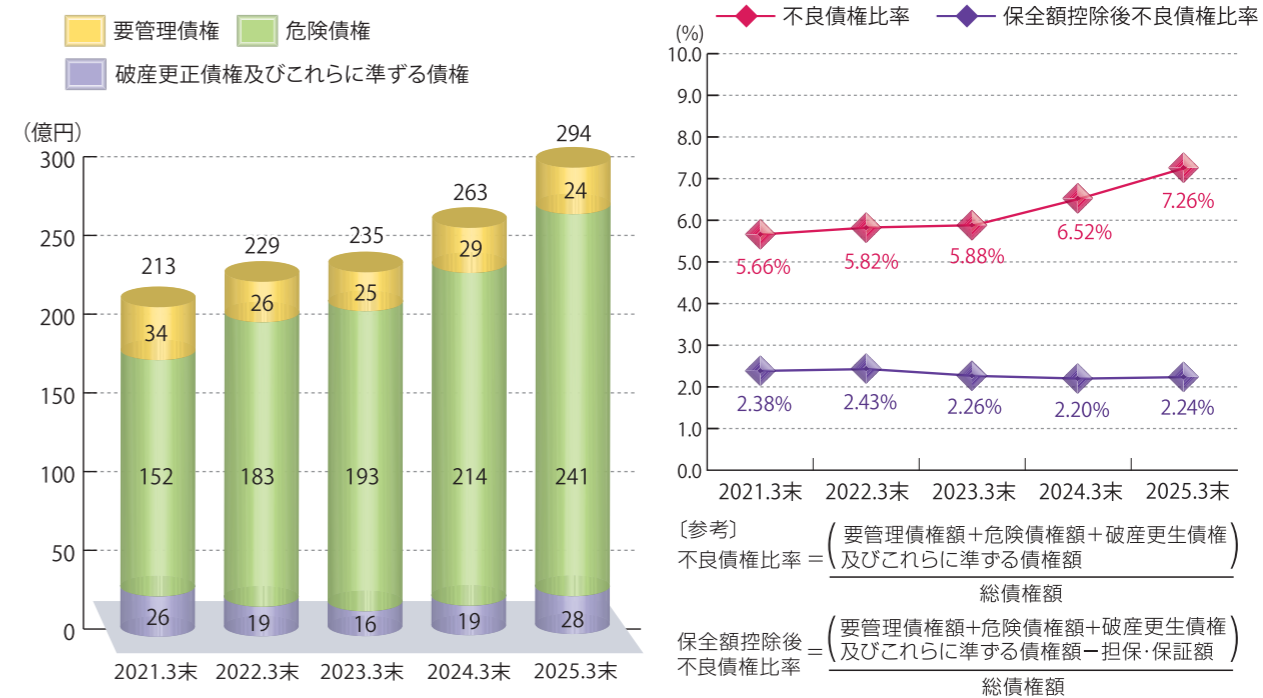
*貸出金にかかる不良債権処理費用等は、一般貸倒引当金繰入額、個別貸倒引当金繰入額、債権償却額等の合計額です。



2025年3月末の不良債権処理費用等は、459百万円となりました。主な増減要因は、一般貸倒引当金が貸倒実績率の良化により432百万円戻入となりましたが、業績が悪化した取引先に対して保守的に個別貸倒引当金繰入額を803百万円、債権償却額等を88百万円計上したことによるものです。

お客さまの課題についてきめ細かな支援を全力で取り組むと同時に、将来のためにも十分な引当を行ってまいります。

不良債権(金融再生法上の開示債権)の内訳と不良債権比率



不良債権は、要管理債権、危険債権、及び破産更生等債権に分類されます。

不良債権残高は業績が悪化したお客さまが増加したことにより2024年3月末に比べて31億円増加の294億円となりました。

不良債権比率は2024年3月末に比べて0.74ポイント上昇の7.26%となりました。担保・保証を差し引いた保全額控除後不良債権比率は2.24%となっています。

事業性評価により経営課題などを把握した上で、お客さまと一体となり外部専門機関などを活用しながら経営改善、事業再生支援活動に取り組んでまいります。

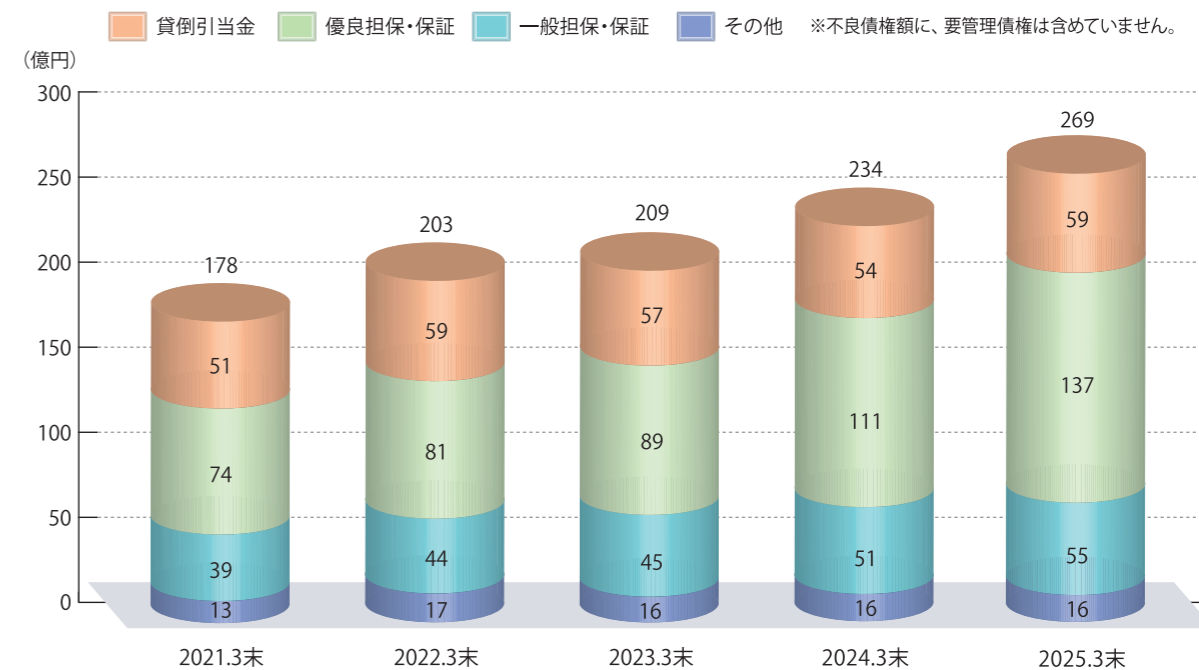
不良債権の発生原因を十分に分析・研究し、審査能力の向上に努め、不良債権の発生防止を図ってまいります。

不良債権(要管理債権を除く)の保全状況

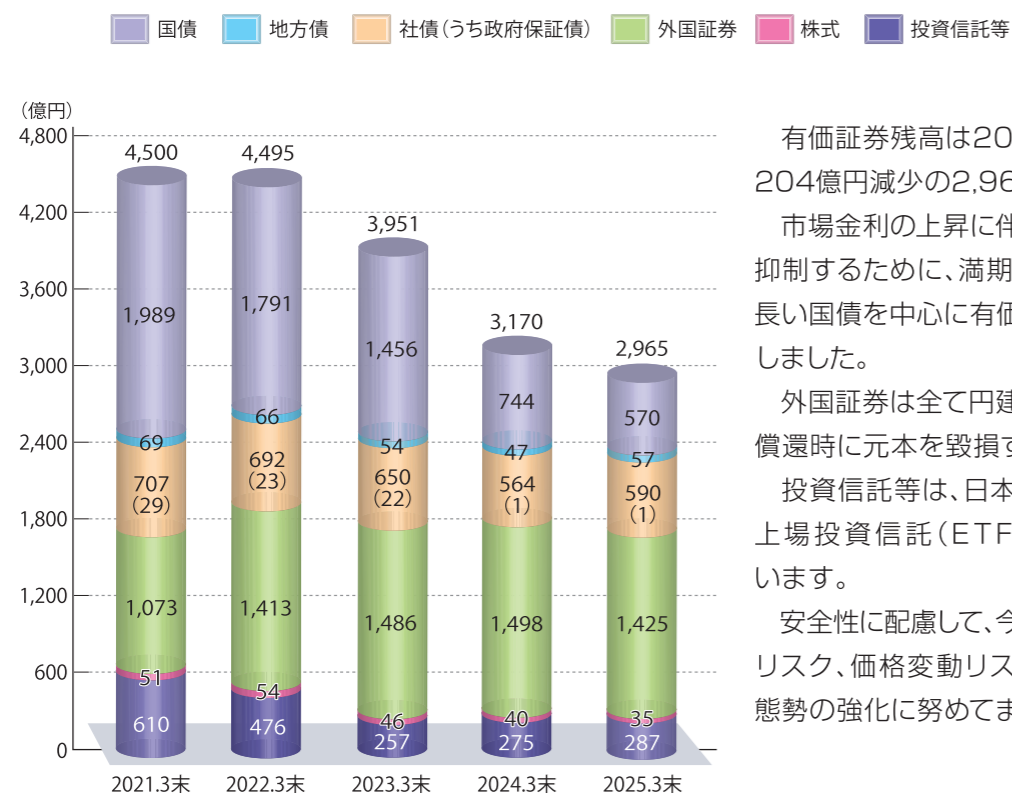
不良債権(要管理債権を除く)269億円の保全状況です。

貸倒引当金は59億円を計上しています。これは会計上損失処理済となります。優良担保・保証(保証協会保証等)で保全されている137億円と一般担保(土地・建物等)・保証で保全されている55億円を合わせた193億円は回収が確実であると見込んでいる額です。残りの16億円は、これまでの回収実績等から見て回収可能と見込まれる額です。

不良債権に対する保全率は93.76%となっています。



有価証券の種類別保有状況(期末残高)

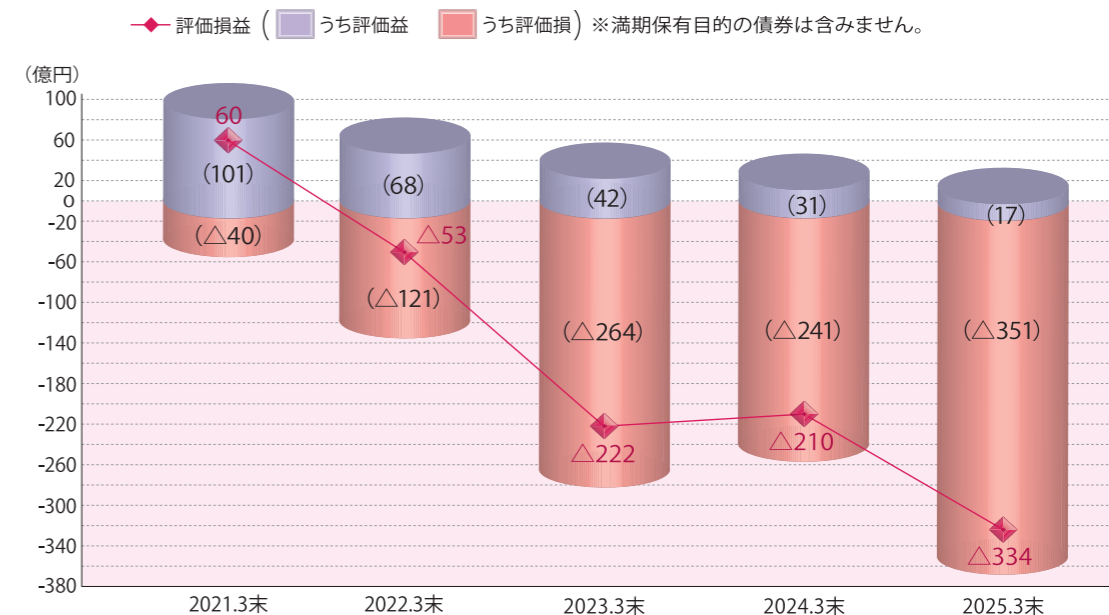


有価証券残高は2024年3月末に比べて204億円減少の2,965億円となりました。市場金利の上昇に伴う債券価格の下落を抑制するために、満期までの期間が比較的長い国債を中心に有価証券を191億円売却しました。

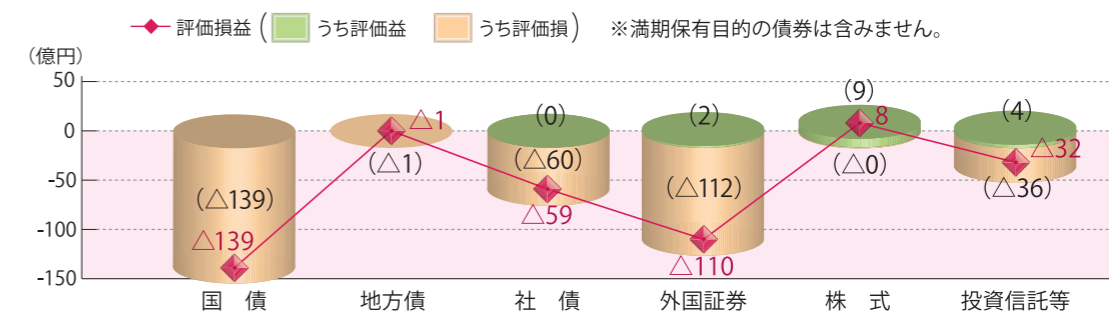
外国証券は全て円建てで為替変動により償還時に元本を毀損するものではありません。投資信託等は、日本株を投資対象とする上場投資信託(ETF)等を追加購入しています。

安全性に配慮して、今後も金利リスク、為替リスク、価格変動リスクなどのリスク管理態勢の強化に努めてまいります。

有価証券の評価損益の推移



有価証券の種類別の評価損益(2025年3月31日現在)



有価証券の評価益は17億円、評価損は351億円、有価証券全体で差引334億円の評価損となっています。

保有する有価証券の圧縮に努めましたが、海外金利の高止まりや国内の金融政策見直し等により、評価損益は2024年3月末に比べて124億円悪化しました。一方で、金利上昇への耐性は保有残高の圧縮や満期償還までの期間の短縮化により改善しました。

有価証券のうち債券の評価損は273億円で約8割を占めています。債券は投資先の倒産等がなければ額面全額が償還されるので、原則として保有を継続する予定です。さらなる金利の上昇による評価損拡大に備えて、債券を中心に計画的に売却も進めてまいります。金利上昇への耐性の改善により、日本銀行の利上げを想定した先行きの評価損益シミュレーションにおいても有価証券評価損益が金庫経営に与える影響は限定的となっています。

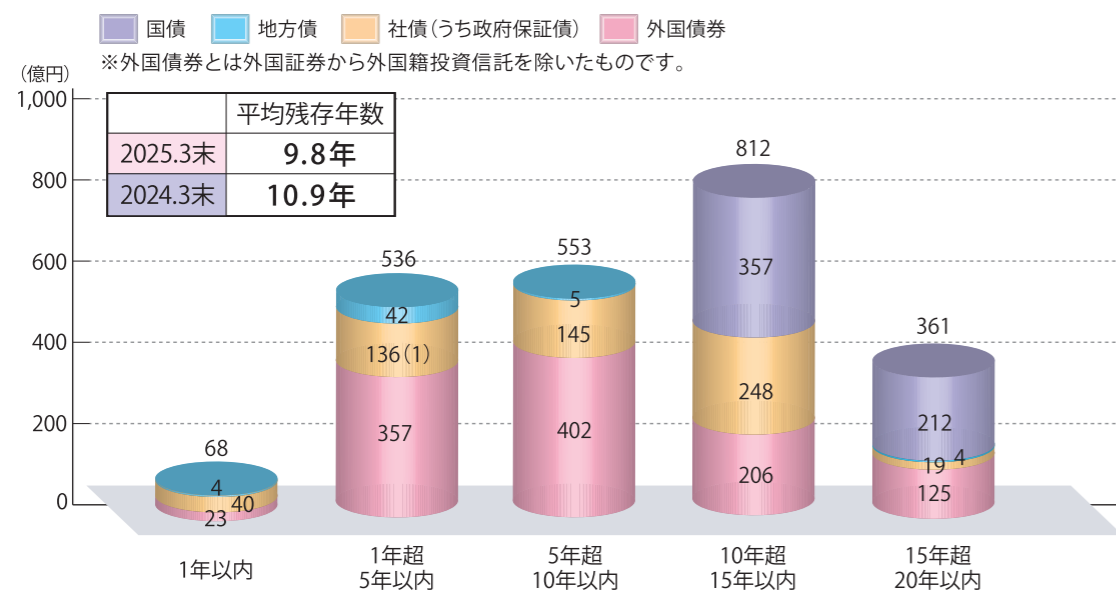
債券とは

債券は、資金を必要とする国や地方公共団体、会社などが資金を調達するために発行されます。一般的に満期償還時に額面全額が償還されることが約束されており、定期的に利息収入が得られることから比較的安定的な運用が可能です。債券の価格は市場の状況により日々変動しますので、保有期間中は債券に評価損や評価益が生じます。債券の評価損や評価益は、満期償還までの期間が短くなるにつれて次第に変動幅が小さくなり、満期償還時にはなくなります。

市場金利の推移



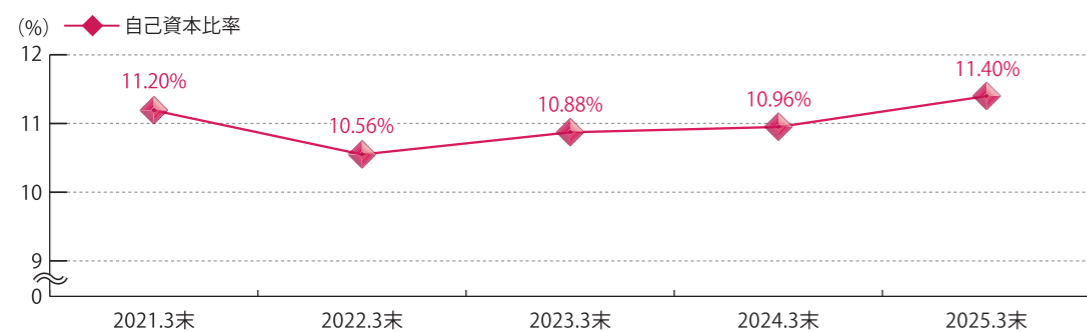
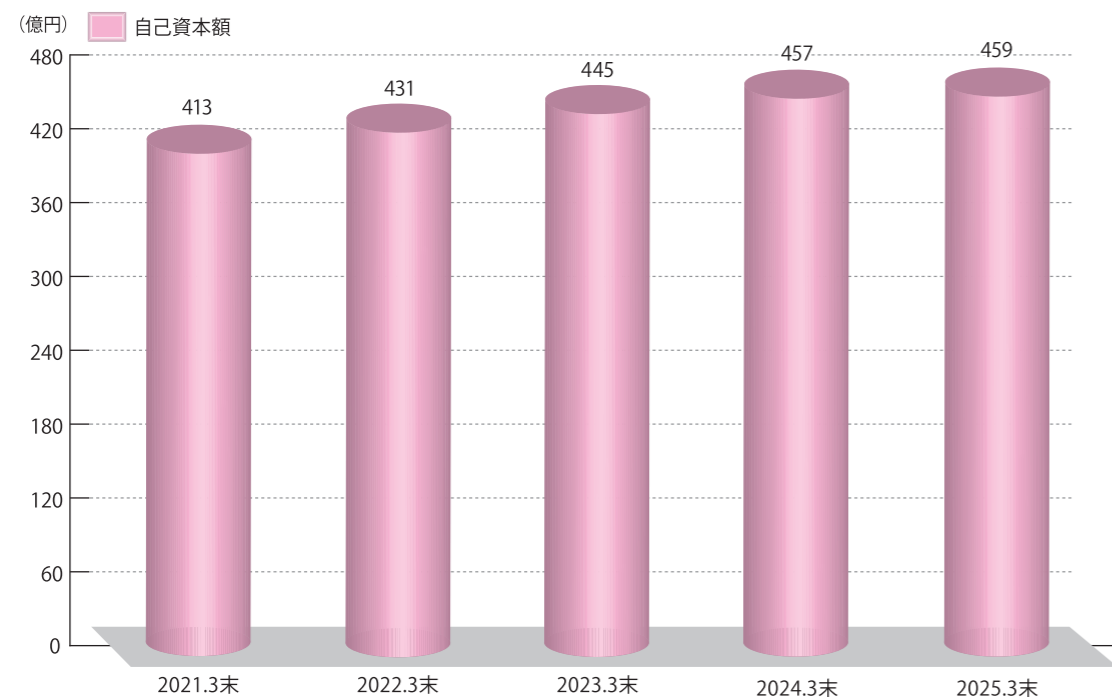
債券〔償還までの期間別に見た残高〕



有価証券のうち株式及び投資信託等を除いた債券について、その償還までの期間別に保有残高を示したグラフです。国内債券の一部売却により期間10年超の残高圧縮を進めた結果、平均残存年数は2024年3月末に比べて1.1年短縮しました。

なお、市場金利が上昇傾向にあったことから、期間10年超の債券への新たな投資は行っていません。

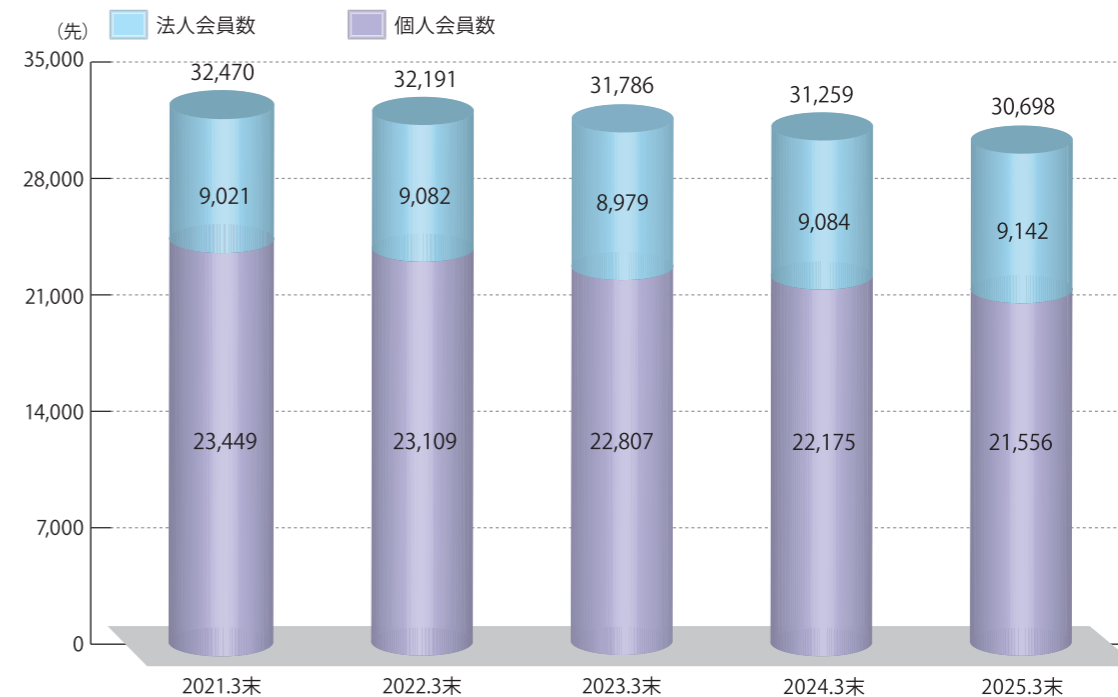
自己資本額と自己資本比率(信用金庫単体)



	(億円)				
	2021.3末	2022.3末	2023.3末	2024.3末	2025.3末
リスクアセット	3,689	4,082	4,098	4,170	4,027

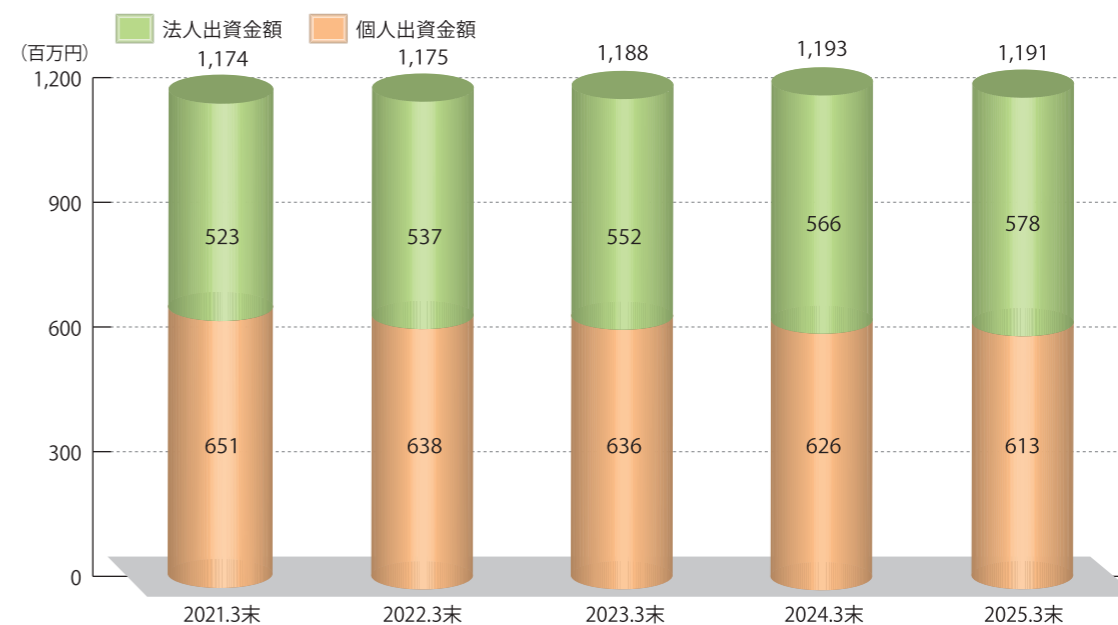
自己資本比率は2024年3月末に比べて0.44ポイント上昇の11.40%となりました。これは自己資本額が2億円増加し、自己資本比率の算出方法をバーゼルⅢの最終化に準拠してリスク・アセット等の合計額を計測すると142億円減少したことによるものです。国内基準である4%を大きく上回り、経営の健全性、安全性を十分に堅持しています。これからも、事業活動を通じて得る収益によって自己資本の充実を図ってまいります。

会員数



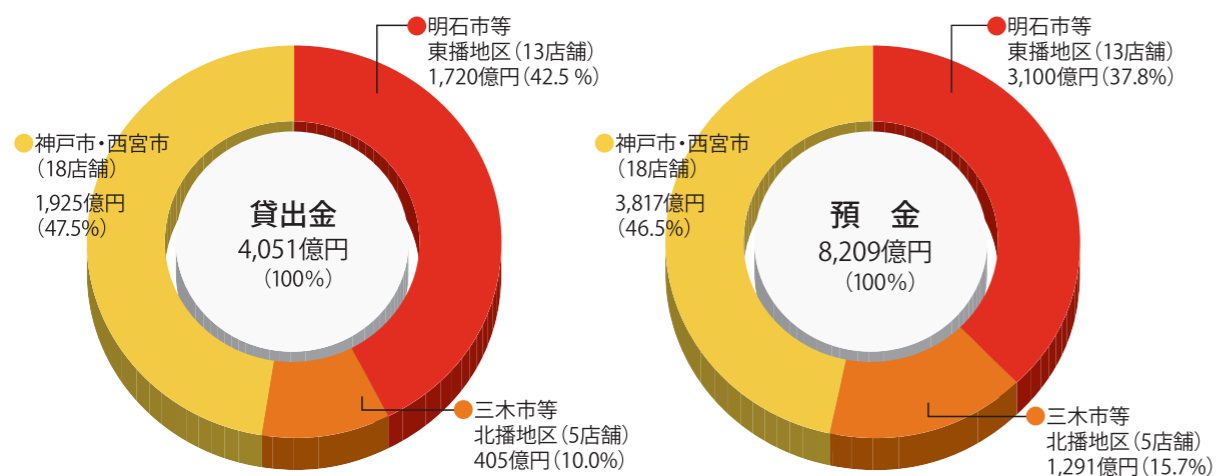
法人会員数は58先増加しましたが、個人会員数は所在不明会員の除名および死亡等による法定脱退または譲渡が多く、会員数は2024年3月末に比べて561先減少しました。

出資金額

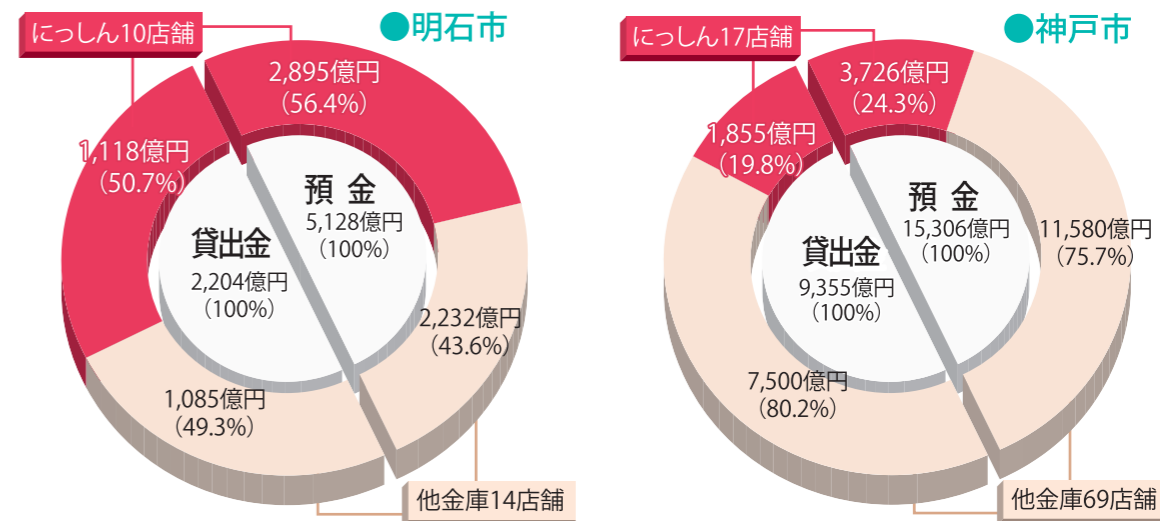


法人出資金額は12百万円増加しましたが、個人会員数の減少に伴い、出資金額は2024年3月末に比べて1百万円減少しました。

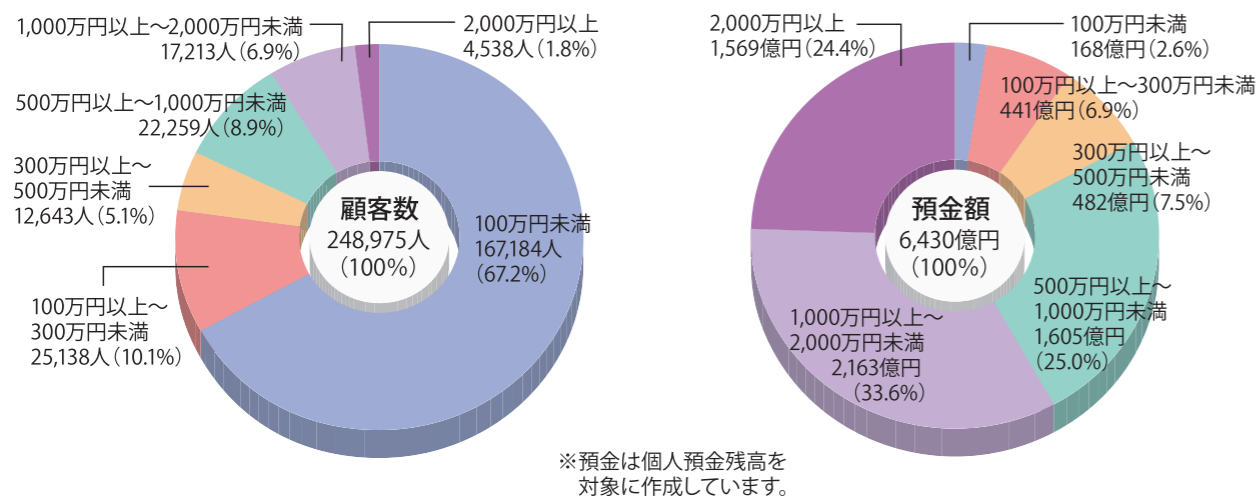
貸出金・預金の地域別構成 (2025年3月31日現在)



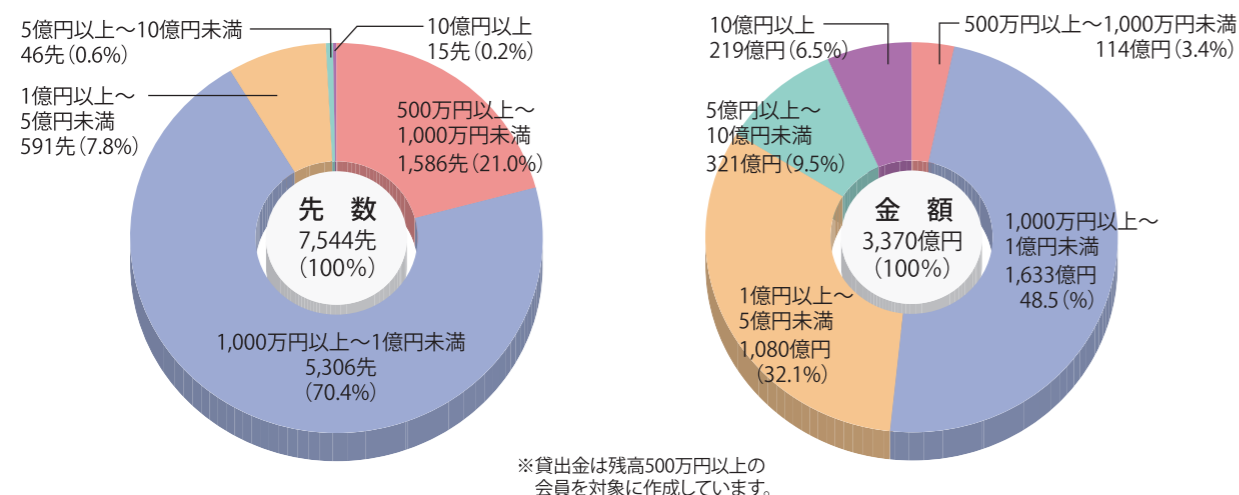
信用金庫の中での〈にっしん〉のシェア (2024年9月30日現在)



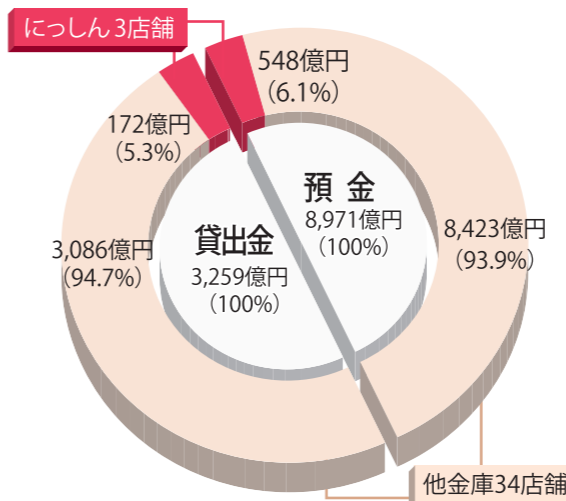
預金者のプロフィール〈個人預金の残高階層別に見た顧客数と預金額〉(2025年3月31日現在)



貸出先のプロフィール〈貸出金の残高階層別に見た先数と金額〉(2025年3月31日現在)



加古川市・高砂市・播磨町



西宮市

